

題 材	年 組 番	5 問
たねまき、育苗と植えつけ（定植）	氏名	

《教科書 P. 148～149》

1. たねまき、育苗、植えつけについて下の問題に答えましょう。

(1) たねの発芽について、正しいものを選びましょう。

- ア. 発芽には、高い温度と乾燥した土が必要である。
- イ. 発芽には、酸素の量は関係ないが、二酸化炭素の量が多いほうがよい。
- ウ. 発芽には、光が必要なものとそうでないものがある。

〔 ウ 〕

(2) 育苗のとき作物の生育をよくするために、こみ合ったところや成長が良すぎる株、悪い株を抜き取る作業を何といいますか。3文字で書き入れましょう。

間 引 き

(3) よい苗の選び方として正しいものをすべて選びましょう。

- ア. 葉は大きく、厚くて緑が濃いものがよい。
- イ. 葉は小さく、薄くて黄緑色のものがよい。
- ウ. 茎は太くてしっかりしているものがよい。
- エ. 茎は苗選びのときは、それほど関係がない。
- オ. 根はあまり苗の段階では、張っていないものがよい。
- カ. 根はよく張っているものがよい。

〔 ア、ウ、カ 〕

2. 次の文は、さまざまな繁殖方法についてまとめたものです。下の問題に答えましょう。

(1) さし芽をするときの正しい方法を選びましょう。

- ア. 直射日光が強く、気温も高い場所で植えつける。
- イ. 直射日光や風のあたらない明るい場所に置き、根が出たら、土に植えつける。
- ウ. 冷蔵庫に入れておき、根が出たら土に植えつける。
- エ. さし芽になる部分を一度加熱処理し、そのまま土に植えつける。

〔 イ 〕

(2) 宿根類のハーブや球根類などに向く、繁殖方法を何といいますか。3文字で書き入れましょう。

株 分 け

チャレンジシート② 基本【解答】

学習日 年 月 日

題 材	年 組 番	11 問
定植後の管理	氏名	

《教科書P. 150～151》

1. 次の文の（ ）にあてはまることばを下から選びましょう。

- (1) 同じ土地に性質の異なった作物を計画的に一定の順序で栽培することを（ **輪作** ）という。
- (2) トマトやナスなどのように、毎年同じ土に同じ科の作物を栽培すると（ **病虫害** ）が発生しやすい場合がある。
- (3) (2)のような現象を（ **連作** ）障害という。

連作 輪作 雑草 病虫害 連続 除草 周作

2. 次の文は、定植後の管理の仕方についてまとめたものです。（ ）にあてまることばを下から選びましょう。

- (1) 水やりは、ていねいに（ **根元** ）に水を与える。病気や害虫の発生源になることがあるので、作物に水とともにねた土がかからないように注意して行う。
- (2) 雑草は、土の水分や養分を吸収し、日当たりや風通しを悪くし（ **病虫害** ）の発生源にもなる。成長前に根ごと抜く。
- (3) 茎と葉の間から出る新しい芽のことをえき芽といい、余分なえき芽をとることを（ **摘芽** ）という。
- (4) えき芽をとると（ **栄養分** ）の無駄がなくなり、花や果実が大きくなる。
- (5) えき芽を出やすくするため、作物の先端の芽をとることを（ **摘しん** ）という。
- (6) 定植後、茎が倒れたり折れたりすることを防ぐために、（ **支柱** ）を立てる。
- (7) 茎が傾いてきたら、倒れないように支柱にそわせ、ゆとりをもたせて結ぶ作業を（ **誘引** ）という。
- (8) マルチングをしない場合は、（ **土寄せ** ）、中耕などの作業も必要になる。

支柱 栄養分 植えつけ 摘しん 病虫害 土寄せ
誘引 葉 育苗 根元 摘芽 連作